

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO 法人ワーカーズ ユープかがやき	代表者	鈴木友子	法人・ 事業所 の特徴	一人ぼっちにならないし、寝たきりにならないし、一人一人に寄り添い、「通い」「訪問」「泊り」を柔軟に組み合わせることにより、住み慣れた地域でその人らしい暮らしが続けられるよう支援いたします。
事業所名	四季のベンチ	管理者	木内スミ子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	3人	1人	1人	1人	人	3人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			皆で取り組んだことがわかった。初めてで書式のあり方や介護の専門用語などよく分からなというのが正直なところ。このようなことの積み重ねで意識が向上していくと思う	内容についてわかりやすい言葉で伝えられるように工夫する。
B. 事業所のしつらえ・環境			意見が出ず事業所の内情を知られていなかった。	広報を配布、秋祭りなどのイベントへと足を運んでいただき、事業所の内情を知ってもらおうきっかけ作りをする。
C. 事業所と地域のかかわり			利用したい人が相談するところと思っていたが相談すればしかるべきところに繋いでくれると分かった。地域に知っていただく努力が必要。	地域（外）から見て入りやすく相談しやすいよう工夫する。また、事業所側からも困っている人はいないかなど地域に訪問できる機会を作る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			今回のアンケートだけでは判断材料がなくよく分からない。施設が何のためにあるかということを職員が知らなければいけない。原点的な理解ができる職員研修をしてほしい。	まずは小規模多機能の目的を理解し、地域に出向いて説明できる事業所になれるようにする。また、学習会も行い業務に反映できるよう周知していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			地域の核として一緒に事業所を育てていくための会議なら我々も参加する意味があると思った。地域に知らしめることが少ない。周知していただくための体制を整えてほしい。	双方でそれぞれ交流を図り歩み寄る機会を作る。その時の様子について話し合う機会も計画する。
F. 事業所の防災・災害対策			防災計画があるのは知っているが、事業所の防災訓練に参加したことがない。いかにして地域を巻き込んでいかを考え、知らせていくことが大切。	事業所の防災活動に参加できるようにまずは運営推進委員の方に情報を伝え、参画して頂く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)
------------------	-----	-------------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	7 人
--------------------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	7	1	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	8	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	7	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネからの情報やアセスメントにて情報収集するようにしている。 ・本人のペースに合わせながら見守りなどを行い、新たな気づき等をミーティングで話しあっている。 ・ミーティングの時間に多くの意見交換や記録ができています。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング時の情報が全スタッフに伝わりにくい。 ・ミーティング記録がいかされていない。 	
理由:	
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングに参加していなかったスタッフへの情報が伝わりにくい。 記録の確認がしっかりできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミーティング記録・確認の仕方を検討し、情報がスムーズにスタッフに伝わるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	4	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	3	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	4	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	9	1	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者様との会話を通じ、本人が何を求めているのか、ミーティングにて情報交換を行い次のケアに生かしている。また、求めているものが見えにくい場合でも、気持ちを汲み取る努力をしている。
- ・ミーティング内容は文章として残し、休日の職員にも情報提供されている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・介護記録が利用者様の日常行動の羅列が多く、ライフサポートプランに添った記録がなされていない。

理由: スタッフ全員がライフサポートプラン (ケアプラン) を熟知・把握していない。そのため利用者様個々のゴールが見えていないスタッフが多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

常にどんなプランで支援していくのか、振り返ることを重点にしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	2	7	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	2	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様それぞれの暮らしの営みを継続することが目標で、そのために必要な情報はミーティングを活用し具体的な関わり内容、気づき、変化や観察などのポイントを押さえたケアがされていて、支援に繋がっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ミーティングで出された課題について、記録にも残し共通事項として活用することを目的としているが、実際に全スタッフが見て、実行することが難しい。また、言語化したことをどう理解するのかによって、関わり方に違いが出てきてしまうこともある。	
理由：スタッフの理解度や取り組み方の意欲に差があるため。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
カンファレンス記録・ケアプランの見直しを常にしていく。 課題と変化の見える、ミーティング記録の書式を変更し、わかりやすくする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	4	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	3	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	4	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	0	9	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の培ってきた人生を理解した対応がある程度出来ていて、暮らしに反映させている。 ・地域の方に対し日常の挨拶が出来ている。 ・くらしまとめシートにより、家庭での生活・暮らしを把握している。 ・地域での支えの必要時、少数ではあるが援助をお願いした事例がある。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動の多い利用者様の理解度に比べ、問題行動の少ない利用者様の理解度が低い。 ・地域資源や制度等の必要性は理解しているが、その折衝や調整の仕方の理解度が低い。 ・地域との関係作りがあまりできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>どんな関わりをしているのか、どんな動きをしているのか、確認し合うようにする。 経過を理解することも含め、介護記録の読み直しをして業務にかかる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	7	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所と地域の機能を駆使して、ある程度は利用者様やご家族にニーズに対しての支援が来ている。ミーティング等で利用者の様子を把握し、共有を図っているためと思われる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との関わり合いが薄く、そのため地域の資源の有効活用ができていない。	
理由：人員や時間にハンディがあるためと思われる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
より柔軟な支援に対応するためにも、人材確保を重視する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	5	1	1	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4	2	1	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	4	4	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	6	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・情報はミーティングで共有されている。 ・ 必要時、各機関と連絡を取りながら情報の共有がなされており、福祉用具などの使用にあたっては情報交換を行い行動がなされている。 ・必要時、迅速に連絡を取り合い行動がなされている。 ・会議の報告は伝達されている。 ・地域の避難訓練等に参加している。 ・ 高齢協の秋祭りには多くの方が参加され、利用者様とご家族様や子供たち、地域の方々との触れ合いが出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・会議の報告をスタッフ全員が把握していない。 ・イベント開催時以外に来訪者が少ない。 ・担当者以外、地域との関わり合いの意識が薄い。 	
理由：スタッフの意識が低くまた余裕がないと考えられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所の動きに関心や興味を示していく。 事務所の掲示板を見て、常にどんな動きがあるのかを、確認していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)

7. 運営

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	6	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	3	0	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	4	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様、ご家族、地域からのご意見や苦情についてはしっかりと受け止め、ミーティングで話し合い、語り合う機会を作っている。この場でも出された改善点を支援に反映させている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者様、ご家族、地域からのご意見や苦情について話し合いを行っても、改善には繋がらず再発事例が認められた。地域との関わり合いについてはボランティアの受け入れも重要だが、施設側から地域に出かける機会が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所から地域の中へ足を運び、情報を得る機会を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	8	1	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	2	0	11
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	1	0	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	1	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・全職員がテーマを考え、月に 1 度職場内研修を行っている (参加者多い)。
- ・職場環境向上のための話し合いや提案がなされている。
- ・ヒヤリハットの内容を分析し、再発防止に努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職場研修の内容が、苦手なテーマの採用が少ない。
- ・ヒヤリハットの内容分析の際、意見が少なく議論が活発とは言えない。

理由：職員個々の問題意識が低いと考えられる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

内部研修は全員参加を徹底させる。研修報告を必ずあげる。
外部研修への参加を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4・10 日 (17:30 ~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	10	2	0	0	12
③	プライバシーが守られている	6	6	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	0	1	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・スピーチロック、ドラッグロックおよびフィジカルロックは守られている。・身体拘束を行わず、利用者様の尊厳は守られた介護が来ている (トイレ、入浴など)。・個人情報保護は来ている。	
理由：職員がコンプライアンスを遵守しているため。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・成人後見制度の理解度が浅く、施設での活用例を理解していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
研修に参加し、専門性を高める。 事業所内では事例検討会を設け、ケアの見直しをしていく。	

